



# 梶田みのる

「住民こそ主人公」貫いて24年  
福祉・くらしを守る大黒柱

日本共産党

## 武豊町議会議員・副議長

武豊町議会産業建設委員会委員、常滑武豊衛生組合議会副議長、中部知多衛生組合議会議員、同監査委員、武豊町社会福祉協議会顧問。

6期24年、みなさまのあたたかいご支援によって、町政の刷新と住民要求実現のために邁進してきました。国民に「痛み」を押しつけ、大企業には減税の大盤振舞い。こんな自公政治では、若者が未来に希望を持てなくし、くらしも福祉も守ることはできないのではないのでしょうか。就職難、倒産・失業問題、少子・高齢化問題など、地方政治を町民の生活を守る防波堤にしなくてはなりません。

私は、みなさんの声を町政と議会に届け、その解決のために、議会内外で全力を挙げてがんばってまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

## 梶田みのるのプロフィール

- 1939年 (昭14) 生まれ 67歳
- 1954年 中学校卒業後、日本油脂(株)入社。働きながら、半田高校武豊分校(夜間定時制、現武豊高校)、名古屋工業大学短期大学部(夜間)を卒業。
- 1961年 学友とともに安保闘争をたたかい、卒業と同時に日本油脂労組武豊支部青年婦人部長に推され、同労組青年婦人部協議会議長、名古屋分会長など歴任。一貫して、働くものの暮らしと権利を守って奮闘。
- 1970年以降 武豊小、武豊中PTA役員、武豊高校同窓会役員を歴任。
- 1973年 「明るい革新町政をつくる会」の結成に参加し、常任幹事として山本革新町長誕生に活躍し、県下初の革新町政の実現に貢献。
- 1983年 中村章八先生の後を受け継ぎ、町議会議員に初当選。この間、決算特別委員長、総合計画特別委員長などの要職を歴任し、住民要求実現と町政の刷新に全力を挙げてきました。
- 現在、6期目。
- 2002年 県立内海高校非常勤教師(弓道指導)の委嘱を受け、現在に至る。
- 2005年 町議会副議長に推されて就任。現在に至る。また、常滑武豊衛生組合議会副議長、中部知多衛生組合議会議員、同監査委員に就任。
- 2005年 日本福祉大学(通信教育部)3年次に編入学。大きく変動する福祉・介護制度等について学び、2007年(今年)3月卒業。

\* \* \* \* \*

家族 二人の娘は嫁ぎ、現在は妻と二人暮らし。  
趣味 弓道(錬士五段)、囲碁(日本棋院四段)、写真(写真集『徳本流名号碑考』1978年刊)、テニス、登山、山野草鑑賞、パソコン。

現住所 武豊町字多賀6丁目33番地1

電話/FAX 72-3055

URL <http://www.kajita-m.jp>

e-mail [minoru@kajita-m.jp](mailto:minoru@kajita-m.jp)



### 【制度解説】

参議院比例代表選挙は

『日本共産党』(にほんきょうさんとう)と政党名でご投票ください。

新たけとよ

2006年11月 日本共産党梶田みのる町議の活動を紹介します。  
発行 日本共産党武豊町委員会 (自宅) 武豊町字多賀6-33-1 電話72-3055